

## ●平成7～8年度役員候補者推薦のお願い

定款にしたがって、平成7～8両年度の役員を選出を行ないます。スケジュールは次のとおりです。

平成7年1月31日 (必着) 候補者推薦締切 2月20日～3月20日 会員の書面による投票  
3月末日 開票(予定) 4月下旬 総会において決定

については、下記により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 伊藤忠雄・亀山三郎

1. 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、社員(正会員または名誉会員)5名以上が候補者の略歴をつけて推薦する。(下記の書式に従ってください)
2. 候補者は社員でなければならない。
3. 理事は会務の分担ごとに選挙をするので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次のとおりとする。副会長2名 庶務1名 国際1名 研究1名 編集1名 無任所(支部所属者)1名
4. 監事の改選数は 1名

..... 切 り と り 線 .....

平成 年 月 日

### 役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成7～8年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

(副会長 庶務理事 国際理事 研究理事 編集理事 無任所理事 監事)として  
氏を推薦致します。

推薦者(正会員および名誉会員5名以上)

(代表者) 氏名 \_\_\_\_\_ (所属: \_\_\_\_\_ )

_____ (印)	_____ (印)
_____ (印)	_____ (印)
_____ (印)	_____ (印)

候補者略歴(18×6字以内)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

上記の推薦に同意します。

氏名 \_\_\_\_\_ (所属: \_\_\_\_\_ )

(i)

## ●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年OR学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、および学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き平成7年1月31日となっておりますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙を早めに事務局宛ご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

【文献賞】 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年（6年1月1日より12月末日までに発行されたものをいう）に発売された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

【実施賞】 ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(株)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機等、企業が主な受賞者でした。

【普及賞】 ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、齋藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 齊、原野秀永、千住鎮雄、依田 浩、刀根 薫、松富武雄の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

【事例研究奨励賞】 すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発売されたものに限り、なお、ソフトウェア部門は11月末日締切りました。

【学生論文賞】 学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成7年3月31日となっておりますが、詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

## ●研究部会・グループ開催案内

### ・システムモデリング手法とその活用

日 時：12月10日(土) 14:00~17:00

場 所：九州大学経済学部2階207中会議室

テーマと講師：(1)「線型計画法による生産効率性の推定に関する一考察」 福山博文(福岡大学商学部)

(2)「原価企画について」

浜田和樹(西南学院大学商学部)

問合せ先：九州大学経済学部 時永祥三

Tel.092(641)1101 内3729 Fax.092(641)7900

### ・CIM環境下における生産計画とスケジューリング

日 時：12月5日(木) 18:30~20:30

場 所：青山学院大学総研ビル3階 第10会議室

テーマと講師：「Practical Scheduling of Manufacturing Systems」 Peter B. Luh (University of Connecticut and Toshiba Corporation)

問合せ先：東京大学先端科学技術研究センター 西岡靖之

Tel.03(3481)4486 Fax.03(3481)4585

### ・評価のOR

日 時：12月17日(土) 14:00~17:00

場 所：青山学院大学総研ビル(正門を入ってすぐ右手) 3F第10会議室

テーマと講師：(1)「DEAのLP定式化の解釈について」 篠原正明(NTT研究所)

(2)「不完全市場におけるDEAの有用性」

山田雅章(QUICK総研)

※終了後、東邦生命ビル31F「オスロ」にて懇親会を予定

問合せ先：NTT通信網研究所 上田 徹

Tel.0422(59)3362 Fax.0422(59)2829

E-mail: ueda@tnlab.ntt.jp

### ・待ち行列

日 時：12月17日(土) 14:00~16:30

場 所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師：(1)「多重待ち行列システムに対する擬保存則とその応用」 高橋敬隆(NTT)

(2)「非割り込み優先権付きMAP/G/1待ち行列の解析に向けて」 滝根哲哉(大阪大学)

(ii)

問合せ先：NEC C&C研究所 小林和朝  
Tel.044(856)2316 Fax.044(856)2235  
E-mail : koba@sbl. cl. nec. co. jp

・数理計画法・ORソフトウェア 合同研究会

日 時：12月17日(土) 15:00～18:30

場 所：青山学院大学総研ビル10階18会議室  
(渋谷区4-4-25 Tel.03(3409)8111(代))

テーマと講師：(I)「新たなダイナミックシミュレーション法—GSIM法の基本原理と応用例およびシミュレータの開発—」

[キーワード] シミュレーション, 不良設定問題, システム 高 振宇 (早稲田大学理工学部)

(2)「数理計画のためのモデリング言語SIMPLEの提案」

[キーワード] 数理計画法, シミュレーション, オブジェクト指向 山下 浩 (数理システム)

※終了後忘年会を予定

問合せ先：青山学院女子短期大学 宮田雅智

Tel.03(3409)8111 内3208

E-mail : miyasan@cc. aoyama. ac. jp

・自動車市場の計量分析

日 時：12月21日(水) 18:00～20:00

場 所：東京国際大学国際交流研究所  
(山手線高田馬場駅前FIビル6F (1Fは東海BK)  
Tel.03(3205)1677

テーマと講師：「製品力・販売力評価の統計的アプローチ」 上田恭嗣 (東京国際大学)

まず製品力強化を起爆剤として販売生産性を向上させ、それに伴って販売員増強、保有シェア拡大を図るべき。「販売員は市場の大きさや製品力があるから増やし得る＝販売員が増えるから販売が増える」との相互規定的関係があり、このバランスが崩れた時経営上の問題となる。この提言を得るに至ったデータ分析。

問合せ先：東京国際大学商学部 上田恭嗣

Tel.0492(32)1111 Fax.0492(32)1119

●関西支部定例講演会 (システムと最適化研究部会)

日 時：12月16日(金) 15:00～17:00

場 所：京大館 (京都市左京区吉田河原町15-9  
Tel.075(751)8311)

テーマと講師：「Methodology and a Modular Tool for Multiple Criteria Analysis of LP Models」

Dr. Marek Makowski (International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA), Austria)

従来の1目標に対する意思決定支援DSSから、最近で

は多目標を扱うモデル解析MCMAが広く使われている。幅広い問題への応用を図るには、DSSをモジュール化しておくことが有用である。そのために必要な多目的計画の手法、特にARBDS (Aspiration Reservation Based Decision Support)、について解説する。

問合せ先：神戸大学工学部情報知能工学科 森田 浩

Tel.078(803)1213 Fax.078(803)1218

E-mail : morita@seg. kobe-u. ac. jp

●会合案内

・第23回丸の内OR研究会

日 時：12月14日(水) 18:30～21:00

場 所：学生会館 (神田錦町3-28)

テーマ：「NECマルチメディア戦略」

講 師：水野幸男 (NEC特別顧問)

参加費：丸の内OR研究会会員 (無料)

非会員 (3,000円) 当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問合わせください。

問合せ先：トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生

Tel.03(3457)6745

●平成7年度春季研究発表会

日 時：平成7年3月27日(月)～29日(水)

3月27日(月)研究発表会, 懇親会

3月28日(火)研究発表会

3月29日(水)見学会

場 所：

研究発表会：広島修道大学 (広島市安佐南区沼田町大塚1717)

懇 親 会：広島全日空ホテル

見 学 会：海上自衛隊第一術科学校(海軍兵学校跡)

日新製鋼(株) 呉製鉄所

特別テーマ：「ORルネッサンス」

チュートリアル：

27日(月)

久保幹雄 (東京商船大学)「メタ戦略とその周辺」

高橋幸雄(東京工業大学)「ネットワークとコンピュータの性能評価—待ち行列モデルの変遷」

福島雅夫(奈良先端科学技術大学院大学)「相補性問題と変分不等式」

28日(火)

小島政和(東京工業大学)「Semidefinite Programmingと内点法」

玉置光司 (愛知大学)「秘書問題の面白さ」

森戸 晋 (早稲田大学) 「離散系シミュレーション」

実行委員長：尾崎俊治 (広島大学)

実行副委員長：海生直人 (広島修道大学)

参加費：正・賛助会員(6,000円)、学生会員(2,000円)、非会員(10,000円) 当日受付にてお支払いください。

発表申込締切日：平成7年1月10日(火) 必着

(宛先) 〒724 広島市鏡山1丁目4の1

広島大学工学部第2類 計数管理工学教室内

日本OR学会中国・四国支部事務局

Tel.0824(24)7696 Fax.0824(22)7195

・研究発表は申込書およびアブストラクトの提出をもって申込み受けとします。

・申込書等請求先：日本OR学会事務局

#### 宿泊等案内：

〈ホテル案内〉 広島全日空ホテル

〈宿泊料金〉

シングル (10,000円, 1泊朝食税金サービス料込)

ツイン (1人使用) (16,200円, 1泊朝食税金サービス料込)

ツイン (2人使用) (18,000円, 1泊朝食税金サービス料込)

〈宿泊期間〉 平成7年3月25日(土)~29日(水)

〈ホテルへのアクセス〉

JR広島駅在来線口：広電バス③、広島バス②もしくは路面電車①で約15分、袋町停留所下車、徒歩1分。タクシーでは約7分。

広島空港から広島バスセンター：リムジンバスで約60分、ホテルへは南へ徒歩10分。

〈申込み・清算方法〉

各自、広島全日空ホテル宿泊予約係まで電話連絡にて申し込みください。御予約の際は必ず「日本OR学会参加」の旨を伝えてください。満室の場合はお断りすることもあります。精算は当日各自で行なうようお願いいたします。

〈問合せ先〉 広島全日空ホテル宿泊予約係

Tel.082(241)1111 Fax.082(241)9123

## ●第33回シンポジウム「ファジィ数理計画とその応用」

1980年代後半のファジィブームを契機として、ファジィ理論がさまざまな分野に導入されるようになった。ファジィ理論は、人間の主観的なあいまいさを数学的に表現し、積極的に取り扱う方法論で、あいまいさの関与するどのような問題へも導入することができる。

意思決定を数学的に扱うオペレーションズ・リサーチにおいては、人間の主観的であいまいな情報を取り扱うファジィ理論の導入は自然な発想であり、古くから、線形計画法や多目的計画法などに導入されてきた。近年、ファジィブームとともに、オペレーションズ・リサーチ分野へのファジィ理論の導入も活発になり、組合せ計画法や動的計画法などの数理計画法、データ解析や品質管理などの統計的手法、効用理論や決定解析などの意思決定手法などへのファジィ理論の導入が検討されている。これらの手法は、従来のOR手法のように、厳密に記述された問題の厳密な解を求めるのではなく、あいまいに記述された問題に対し、意思決定者の意向を反映した解を求めている。

本シンポジウムでは、数理計画法へのファジィ理論を導入したファジィ数理計画法を取り上げ、現在までの成果を概観するとともに、ファジィ組合せ計画法やファジィ動的計画法、遺伝的アルゴリズムとの融合など最近の研究成果について発表・討論し、オペレーションズ・リサーチ分野での今後の発展方向や現実問題への応用の可能性を探る。この分野に興味を持っておられる研究者や学生の方々、実際問題への応用を考えている実務家の皆様の御参加を歓迎いたします。

日時：平成7年3月29日(水) 10:00~16:30

場所：中国電力株式会社 本店1号館 3-1会議室  
(〒730-91 広島市中区小町4番33号)

テーマ：「ファジィ数理計画法とその応用」

実行委員長：坂和正敏 (広島大学)

オーガナイザー：乾口雅弘 (広島大学)

プログラム：

- 10:00~11:00 ファジィ数理計画法の現状と課題  
乾口雅弘 (広島大学)
- 11:00~12:00 ファジィ組合せ最適化とその応用  
石井博昭 (大阪大学)
- 13:20~14:20 区間係数を伴う整数計画問題の遺伝的アルゴリズムによる解法  
玄 光男 (足利工業大学)
- 14:20~15:20 不変埋没によるファジィ動的計画法  
岩本誠一 (九州大学)
- 15:30~16:30 ファジィ決定過程：安定化と最適性  
蔵野正美 (千葉大学)

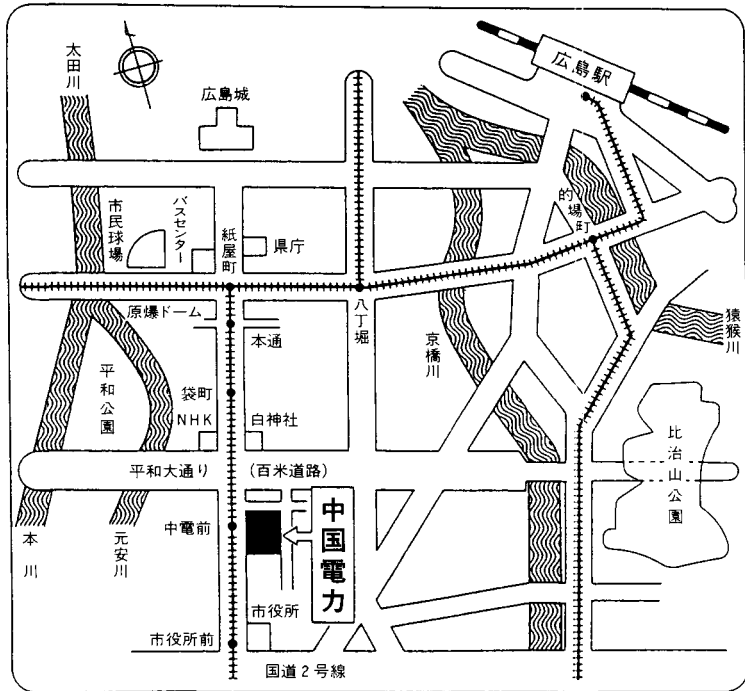
参加費：正・賛助会員3000円、学生会員1000円、非会員5000円

問合せ先：広島大学工学部第2類 (電気系) 乾口雅弘

Tel.0824(24)7695 Fax.0824(24)7694

E-mail: inuiguti@msl.sys.hiroshima-u.ac.jp

(地図)



《交通案内》

広島駅より (所要時間 約20分)  
 広島バス 広島港行き (21番)「中電前」下車すぐ  
 広電バス 広島西飛行場行き (3番)「中電前」下車すぐ  
 市内路面電車 宇品行き (1番)「中電前」下車すぐ  
 広島修道大学 (平成7年度春季研究発表会会場)より (所要時間 約50分)  
 アストラムライン「本通り駅」下車徒歩5分

●公募案内

・小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員：助教授1名

担当科目：応用統計およびソフトウェア科学

応募資格：大学院博士課程修了者（平成7年3月修了見込み者を含む）あるいは同等以上の業績を有する者。

採用予定日に40歳未満であることが望ましい。

採用予定：平成7年4月1日

応募締切：平成6年12月15日

提出書類：履歴書，教育研究業績表，業績抜刷 他問合せのこと。

送付・問合せ先：〒047 小樽市緑3-5-21

小樽商科大学長（送付先）

小樽商科大学 庶務課人事係（問合せ先）

Tel.0134(23)1101 内505

・小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員：助手2名

専門分野：オペレーションズリサーチ，情報科学等の関

連領域

担当業務：教育補助，若干の学科業務  
 応募資格：大学院修士課程修了者あるいは同等以上の業績を有する者。原則として採用予定日に28歳未満であること。

採用予定：平成7年4月1日

応募締切：平成6年12月16日

提出書類：履歴書，教育研究業績表，業績抜刷 他問合せのこと。

送付・問合せ先：〒047 小樽市緑3-5-21

小樽商科大学長（送付先）

小樽商科大学 庶務課人事係（問合せ先）

Tel.0134(23)1101 内505

・電気通信大学電子情報学科

募集人員：教授または助教授1名

専門分野：生産システム関連分野（所属講座名：経営システム工学）

担当科目：産業システム特論，生産計画，経営工学 等

応募資格：博士の学位を有し，大学院博士後期課程の研究指導ができる者。

採用予定：平成7年6月1日以降できるだけ早い時期

応募締切：平成7年2月28日

提出書類：履歴書，研究業績一覧表，論文別刷 他問合せのこと。

送付・問合せ先：〒182 調布市調布ヶ丘1-5-1

電気通信大学電子情報学科 萩野剛次郎（送付先）

松井正之（問合せ先）

Tel.0424(83)2161 内542